

図1 新規GPCR活性化検出法

TGF α shedding assayの原理

本法ではHEK293細胞にGPCR、アルカリホスファターゼ（AP）標識TGF α 前駆体、（+キメラGタンパク質）を発現させ、リガンド刺激後1時間中に細胞外に遊離したTGF α 量をAP活性を指標に検出する。

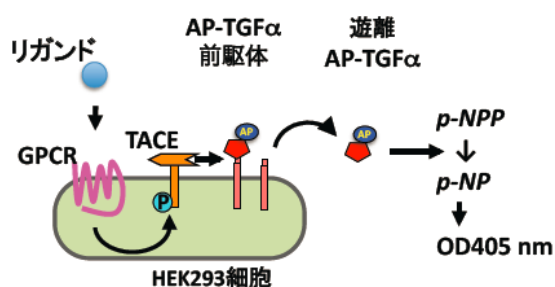


図2 同定された新規リゾホスファチジルセリン受容体

TGF α shedding assayを用い、リゾホスファチジルセリン応答性GPCRを探索し、P2Y10, A630033H20, GPR174の3つの新規GPCRを同定し、それぞれ、LPS₂, LPS_{2L}, LPS₃と命名した。

